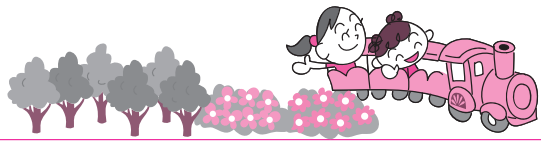


対象・応募資格 日時・期間 場所 内容 定員・募集人数
 費用 講師 持ち物 申込・申請 その他 問 問先



愛知こどもの国へ

遊びに行こう！

森の案内・インタープリターと自然体験

対 どのなたでも
 時 9月14日(土)・15日(日)

①午後1時30分～2時30分
 ②午後2時30分～3時30分
 場 ゆうひが丘自由広場

内 森に住む生き物と植物の関係や、人の五感と色などを園内の自然を通して楽しみます。

定 各回10人
 ￥ 無料

申 愛知こどもの国ホームページの入力フォームから申し込みください。
 他 当日の参加もできます。

こどものまちなみかわっ国

対 小学生
 時 9月28日(土)・29日(日)
 10時～午後3時
 場 中央広場

内 子どもだけの王国が誕生。ハローワークでやりたい仕事を見つけて、王国で使える通貨「だらあ」を稼ごう。

店を開いて自分で作ったものを売ったり、大統領になって王国のルールを作ったりできます。

定 各日500人
 ￥ 無料



他 ①事前申し込みは不要 ②名鉄電車を利用して来場した方に王国で使える「プレミアムだらあ」をプレゼント ③名鉄こどもの国駅から無料シャトルバスを運行

木の美のスイーツを作ろう

対 3歳以上の方
 時 9月1日(日)～29日(日)午前10時～午後4時30分

場 ゆうひが丘わくわく工房
 内 身近な素材を使って、木の美のスイーツを作ります。作った作品は持ち帰れます。

他 事前申し込み不要
 ￥ 無料

問 愛知こどもの国 (☎62・4151)



手前が「はまかせ」、奥が「第三さちかせ」

佐久島発 島の風 だより

夏休みが終わり、少しずつ落ち着いた佐久島は、アート巡りや島歩きにぴったりの季節になってきました。

佐久島の楽しみは、船で出発するところから始まります。市が運航する渡船は、「はまかせ」と「第三さちかせ」の2隻。一色港から佐久島の西港を経由して東港まで、1日7往復していて、どちらの船



「はまかせ」と「第三さちかせ」

になるかは当日のお楽しみですよ。

平成13年に就航した「はまかせ」は、定員113人で、イス席は67席。船体に赤色のラインが入ったシャープな印象の船です。「第三さちかせ」は、名前のとおり「さちかせ」の3代目。平成25年に就航し、定員は118人、イス席は47席で、船体にスナメリや魚が描かれています。2階のオープンデッキは天気の良い日に開放され、三河湾の景色を360度楽しめます。

秋が深まってきます。帰りの渡船を日没の時間に合わせれば、サンセットクルーズが楽しめます。島の最後の思い出にいかがでしょうか。

渡船料	
中学生以上	820円
小学生以下	410円
※10月1日から、中学生以上：830円、小学生以下：420円	

アート&イベント情報

●白山社十五夜祭り
 時 9月13日(金) 午後1時
 場 白山社
 内 大漁・豊作祈願の祭り。佐久島太鼓の打ち込みが行われます。

問 佐久島振興課 (☎72・9607)
 【佐久島公式ホームページ】
<https://sakushima.com>

AICHI NISHIO ほんものづくり隊

頑張るものづくり企業を応援します

このコーナー「ほんものづくり隊」は、「ものづくりのまち西尾」の知名度向上プロジェクトの一環で掲載しています。製造業を主たる事業とし、冊子「頑張るものづくり企業in西尾」に掲載の企業をリレーで紹介し、地域産業の活性化を目指します。

有限会社三河螺子

切削で精密さを出す技術 長年の経験と実績で高精度を実現

ハイブリッド自動車などに搭載される電子制御式ブレーキシステムの部品を製造している有限会社三河螺子。現在研究が進んでいる自動運転の技術でも、ブレーキシステムが果たす役割は大きく、同社の製品にも大きな期待が寄せられています。

入社3年目の小島奈々さん(一色町)は、品質保証部に所属。製品の測定検査をしています。「私が不良品を見つければ、会社の製品が取引先で迷惑を掛けることがなくなる。大切な役割を任されている」と責任とやりがいを感じているそうです。もともと地元で働きたいと思っていた小島さんは、就職活動中に同社を見学した際、アットホームな雰囲気と清潔感のある作業環境に引かれて入社を決意。「休憩時間にバレンタインのチョコやひな祭りのいがまんじゅうなど、季節のおやつが出るのがうれしい」と楽し



く仕事ができているそうです。

休日はドライブやショッピング、好きなバンドのライブに出掛け、リフレッシュしていると笑顔で話す小島さん。明るく責任感の強い若者のエネルギーが西尾のものづくりを新たな段階へ引き上げます。

DATA

本社所在地/一色町開正川田18
問合せ/☎72・8561 分野/切削加工
資本金/300万円 従業員数/38人



エレベーターに使うモーターなどの特殊電動機から建設機械まで、幅広い分野の部品加工を行う株式会社筒井鉄工所。100キログラム～数トンの部品の製造を得意にしています。

製造部で働く服部紘幸さん(巨海町)は入社8年目。CNCマシニングセンタなどの加工機械を駆使して部品を製造しています。以前は東京で料理人をしてきたという服部さんは、地元で腰を据えて仕事をし

株式会社筒井鉄工所

でっかい夢を持った技術者が、でっかい製品を作り、地域社会の発展を生む

たいと転職。初めは専門用語が分からず苦労したそうですが、先輩の指導と自身の努力で知識とノウハウを身に付けました。今ではマンマーからの研修生の教育係を任されるなど社内で頼りにされています。「製品を作り上げたときの達成感は料理に通ずるものがある。人に教えることで自分もレベルアップしたい」と話してくれました。

休日には西尾の抹茶を使ったスイーツや、地元の海産物で料理を作るという服部さん。郷土愛にあふれる若者の頑張り、西尾のものづくりを支えています。

DATA

本社所在地/法光寺町流55-1
問合せ/☎53・0185 分野/機械部品加工
資本金/1,000万円 従業員数/18人